

令和元年度（2019年度）行政評価シート【個表】

令和元年7月5日

評価対象事業		評価者	浄化センター所長	永田 直樹
都整-48	実施事業	七里ガ浜浄化センター維持管理費(特別会計)	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課 浄化センター
			<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課
総合計画上の位置付け	分野	下水道・河川	施策の方針	下水道の整備・管理

1 事業の目的

対象	市民等
意図	流入汚水の処理を継続し、適正な施設機能の維持管理を行うため。
効果	流入してくる汚水を適正に処理すること、および施設機能を維持し延命を図る。

2 平成30年度(2018年度)に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> ・公共下水道終末処理施設の管理運営について、運転管理は民間委託で、水質管理は市職員が行い、良好な水質環境の維持を図った。 ・流入水、放流水などの水質検査等を実施し、適正な水質管理、環境保全を図った。
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	29年度(2017年度)決算		30年度(2018年度)決算		01年度(2019年度)当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	176,466人	81,150世帯	176,308人	81,763世帯	176,436人	82,444世帯	・各年3月31日(住民基本台帳)
事業の対象者数							
運営資源状況	決算値(千円)	431,054	420,248	当初予算(千円)	467,672		
	国県支出金			国県支出金			
	地方債			地方債			
	その他	388,413	378,706	その他	421,777		
	一般財源	42,641	41,542	一般財源	45,895		
	人員配置数	2.0	2.0	人員配置数	2.0		
事業経費運営	人件費(千円)	15,159	15,296	人件費(千円)	15,550		
	総事業費(千円)	446,213	435,544	総事業費(千円)	483,222		
	市民1人当りの経費(円)	2,529	2,470	市民1人当りの経費(円)	2,739		
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)			

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	3. 十分な成果が出ている
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	4. 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	○-1. 既に受益者負担を求めているが、今後、その額や対象等を再検討する必要がある
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△-2. 市民等と協働して事業を実施することはできない 協働実施済の場合のパートナー

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大	見直しの内容	事業へ統合
	<input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする		<input type="checkbox"/> 縮小		
	<input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する		<input type="checkbox"/> その他		
	<input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒				
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	維持管理費の一層の削減を図りつつ、適正な維持管理を目指す。		
	<input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする				
	<input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する				

総評(評価に対する考え方、根拠等)	下水道は市民生活にとって不可欠な社会基盤であることから、業務の必要性は高い。このため事業の効率性を高め、維持管理費の一層の削減を図りつつ、施設機能の確保に努め、適正な維持管理を実施して公共水域の水質保全を図る。
-------------------	---

平成30年度(2018年度)事業実施にあつての課題(前年度未解決の事項を含む)	処理場の適正な運営・維持管理を行いながら、経費の適正な執行に努めていく。						
課題解決のために行った平成30年度(2018年度)の取組	改築更新工事で処理効率の良い最新機種を採用することにより、維持管理費の削減を図ることができた。今後は予防保全型の維持管理に努め、維持管理経費の平準化に努める。						
未解決の課題、新たな課題とその理由	処理施設の管理運営において、突発故障防止や良好な水質管理、周辺環境の保全等を継続して維持していくには、専門知識や技術を有した職員の適正な配置と人員確保が必須である。また、災害に強い社会基盤施設構築のため、鎌倉市下水道総合地震対策計画に基づく、施設の耐震化対策を計画的に進めていく必要がある。						

- 解決
- 一部解決
- 未解決

◎ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項								
団体名								
他市実績								

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方								
----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	単位	指標の傾向						備考
当該指標を設定した理由		H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)	
	目標値							
	実績値							
	達成率							

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方								
-----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--